



年末年始 12/26 (火) ~ 1/4 (木) は休館します。

日	月	火	水	木	金	土
12月	12月	12月	12月	12月	12月	12月
24 休館	25 9:00 ~ 20:00	26 休館	27 休館	28 休館	29 休館	30 休館
12月	1月	1月	1月	1月	1月	1月
31 休館	1 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5 9:00 ~ 17:00	6 休館

いい字 一字  
12月12日は  
漢字の日

公益財団法人日本漢字能力検定協会が1995年(平成7年)12月12日に制定しました。同協会では毎年「今年の漢字」を全国から募集。いちばん多かった漢字を発表して、京都・清水寺貫主の揮毫でその字を清水寺に奉納しています。日付は12と12を「いい字一字」と読む語呂合わせで、日本人ひとりひとりが毎年、「いい字」を「一字」は覚えて欲しいとの願いが込められています。それにちなみ「漢字」についての本をご紹介します。

【参考文献】公益財団法人日本漢字能力検定協会 「意外に知らない「今年の漢字」」 <https://www.kanken.or.jp/kotoshinokanji/shiru/> 2023/11/23

<p>医学をめぐる漢字の不思議</p> <p>西嶋佑太郎 著</p> <p>「腔」の読みはこう? こう? 医学用語の漢字の不思議を紹介。</p> <p>所在 3F 第5閲覧室 請求記号 490.34 資料ID 10982680 N 81 1</p>	<p>理系の書道家が科学の視点で考えた、誰でも字がうまくなるすごい方法</p> <p>岡部修一, 岡部省三 著</p> <p>「きれいな字」を書くための超絶理論。図版を使って徹底解説!</p> <p>所在 4F 第6閲覧室 請求記号 728.9 資料ID 10950753 O 37 1</p>	<p>魚へん漢字講座 (新潮文庫)</p> <p>江戸家魚八 著</p> <p>魚へんの漢字を集め、名前の由来や魚の調理法など紹介。</p> <p>所在 2F 第4閲覧室 (文庫・新書) 請求記号 811.2 資料ID 10892093 E 24 1</p>	<p>マンガでわかる漢字の使い分け図鑑</p> <p>円満子二郎 著</p> <p>「足」と「脚」はどう使い分ける? 迷いがちな漢字を解説。</p> <p>所在 4F 第7閲覧室 請求記号 811.2 資料ID 10979165 E 56 3</p>	<p>振仮名の歴史 (岩波現代文庫)</p> <p>今野真二 著</p> <p>平安時代から現代まで脈々と続く振仮名の歴史を辿る。</p> <p>所在 2F 第4閲覧室 (文庫・新書) 請求記号 811.2 資料ID 10959488 Ko71 1</p>
<p>謎の漢字 由来と変遷を調べてみれば (中公新書)</p> <p>笹原宏之 著</p> <p>娟、鯨、鯉、岷などの不思議な文字の由来を徹底調査。</p> <p>所在 2F 第4閲覧室 (文庫・新書) 請求記号 811.2 資料ID 10923507 Sa71 4</p>	<p>方言漢字 (角川文庫)</p> <p>笹原宏之 著</p> <p>各地に存在する地域性を持つ漢字「方言漢字」について紹介。</p> <p>所在 2F 第4閲覧室 (文庫・新書) 請求記号 811.2 資料ID 10964645 Sa71 5</p>	<p>日本人のための漢字入門</p> <p>阿辻哲次 著</p> <p>鹿児島を一字で書いた漢字とは? 身近な漢字の面白さを伝える。</p> <p>所在 4F 第7閲覧室 請求記号 821.2 資料ID 10959549 A 95 12</p>	<p>漢字の字形 甲骨文字から篆書、楷書へ (中公新書)</p> <p>落合淳思 著</p> <p>甲骨文字から篆書、隸書を経て楷書へ。字形の変化を丹念に辿る。</p> <p>所在 2F 第4閲覧室 (文庫・新書) 請求記号 821.2 資料ID 10949240 O 15 2</p>	<p>漢字のなりたち 日英対訳</p> <p>白川静 著/アラン・スウェイツ 訳</p> <p>白川文字学の基本を103字で学ぶ日英対訳入門書。</p> <p>所在 4F 第7閲覧室 請求記号 821.2 資料ID 10918131 Sh83 16</p>